

## 自覚と責任のもてる2年生に

暮らしを取り巻く風景の中に、花や樹木の彩りがなければ、季節はもっと味気ないものなのかもしれません。

特に鮮やかな色彩が街や風景を包み込む春は、その華やかな色合いや優しい香りに心も浮き立ちますよね。

あわただしい中、新学期が始まりました。

新しい教室、新しい先生、そして新しい仲間・・・。

中堅学年としての2年生は、新入生に対しては先輩であり、3年生に対しては後輩・・・といった二つの顔、立場をもち、一番大変な学年ではないかと思えます。

中だるみの2年生、がらっと変わる2年生、岐路に立つ2年生、目標が持ちにくい2年生とよくいわれますが、自主、自治の力が伸びる2年生、心身ともに大きく伸びる2年生、論理的思考ができる2年生、自立への大きなはばたきの2年生になっていこうではありませんか。

「今やるべきことは何か」「それは良いことか悪いことか」と自分に問いかけることのできる2年生になってほしいと思います。

授業が始まります。当たり前のことですが、今年度も何よりも授業を大切にしてください。学校は自分一人の場ではないのです。

自分の「楽・喜」が他の人に「苦・悲」を与えるものになってしまっはいけないのです。

そのためにも、チャイム席の徹底、授業道具の点検、授業中の私語厳禁などしっかりお願いします。

注意を受けた時に自分がどのような態度に出るかで、値打ちがわかります。

授業を受ける側、する側・・・お互い気持ちよくできるようにしたいものですね。



勉強には 二つの面がある

一つは

勉強は一週間や二週間  
激しくやって、成果があらわれる  
ものではないということだ

短時間の猛烈な努力などよりも  
毎日の一時間の授業や  
一枚の課題や

四分の一枚の朝テストを  
自分のものにしようと  
着実に努力する方が

大切であるし  
勇気も必要だ  
繰り返すが

毎日の小さな努力の方が  
はるかに勇気を必要とする

二つには

勉強というものは  
猛烈に楽しいものではないということだ

それよりも  
課題をやり終えた  
小さな満足感

難しい問題が解けたときの  
小さな喜び

そんなかすかなものが  
勉強の楽しさの正体なのである

～ひとりはおみんなのために

みんなはひとりのために～

新しいクラスはどうですか？

人間、ひとりでやろうと思っても、できることはしれたもの。

みんなが集まれば、とてつもないパワーが発揮できます。

誰かが苦しんでいる時、みんなで苦しみを分かち合う。

きっと苦しみも軽くなるでしょう。

誰かがうれしい時、みんなでうれしさを分かち合う。

きっとうれしさは倍増するはずです。

一人一人がみんなのことを考え、みんなで一人一人のことを考える。

そうすれば、クラスが、みんなが、少しずつ成長していくはず。

団結力のある思いやりのあるクラスをめざして、頑張っていきましょう。